

あわら市長選挙結果

1月28日、前市長の辞職に伴うあわら市長選挙が告示され、3人の立候補がありました。2月4日に投票が行われ、投票率は62.01%で、62.10%だった平成27年の市長選挙とほぼ同じでした。選挙結果は次のとおりです。

得票数

	候補者名	得票数
当選	佐々木康男	7,095
	大下 重一	5,516
	中川 智和	2,237



▲投票所



▲選挙結果を待つ市民



▲当選証書付与式

投票者数・投票率

投票所	当日有権者数	投票者数	投票率 (%)	投票所	当日有権者数	投票者数	投票率 (%)
1 湯のまち公民館	3,843	2,043	53.16	10 細呂木公民館	972	647	66.56
2 農業者トレーニングセンター	1,824	1,062	58.22	11 名泉郷会館	957	558	58.31
3 轟木新田ふれあいセンター	171	121	70.76	12 坪江公民館	1,104	729	66.03
4 本荘公民館	1,424	979	68.75	13 剣岳公民館	626	393	62.78
5 新郷小学校	780	548	70.26	14 伊井公民館	1,350	878	65.04
6 北潟公民館	1,224	780	63.73	15 さくらセンター	792	521	65.78
7 波松小学校	560	316	56.43	16 金津小学校	4,303	2,733	63.51
8 吉崎公民館	333	226	67.87	17 中央公民館	3,367	2,097	62.28
9 湖東会館	466	310	66.52	合計	24,096	14,941	62.01

就任のごあいさつ



春の陽気が待ち遠しい雪解の候、市民の皆さまにはますますお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

このたびの市長選挙では、多くの皆さまから温かいご支援を賜り、あわら市長に当選を果たすことができました。こうして皆さまにごあいさつできますことを大変光栄に存じますとともに、お寄せいただいたご期待と与えられた職責の重さに改めて身の引き締まる思いです。

さて、あわら市は、2023年春の北陸新幹線県内延伸と新幹線芦原温泉駅開業という大きなチャンスを控えた大切な時期を迎えています。このビッグチャンスを踏まえ、地域をどう活性化していくのかを明確にしながら、福井県の北の玄関口となるJR芦原温泉駅周辺環境整備を推し進めるとともに、開業効果を市内全域に波及させることが、最重要政策であると考えております。

また、市の活性化に向けた流れをより大きなものにするため、市内の魅力的な素材にさらに磨きをかけ、強力に情報発信し、国内外からの誘客を図り交流人口を拡大するとともに、移住定住の促進にも努めてまいります。

こうした取り組みの一つ一つが、芦原温泉駅周辺だけでなくあわら市全体にうるおいをもたらす、市民の幸せへとつながっていくものと確信しております。

市では、芦原温泉駅周辺整備のほか、今年開催される「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会や関連するイベントが控える一方で、ますます増加する社会保障費、道路や水道など基盤施設の老朽化に伴う更新費用など、これまで以上に財政需要が求められてまいります。

厳しい行財政状況が予想される中ですが、山積する課題に真摯に向き合い、各種施策を着実に進めながら、市民の皆さまにとって、日本一幸福な福井県で一番幸せなまちを目指してまいります。

今後、10年先、20年先を見据えて、皆さまと力を合わせながら、誰もが夢や希望を持ち、ワクワク・ドキドキ・キラキラと笑顔で元気に暮らす「誰もがときめくあわら市」の実現を目指し、しっかりと市政運営のかじ取りをしてまいります。市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げまして、就任のごあいさつといたします。

あわら市長 佐々木 康男

自主防災組織を設立して 防災訓練を行いましょ！



市では、災害などが発生した時に、速やかに計画的かつ組織的な行動ができるよう自主防災組織の設立を願っています。(組織数129区中105区1月31日現在)

自主防災組織を設立後は、定期的に防災訓練を実施しましょう。

訓練を行う際には、市と消防署が全面的に協力します。まずは、市へご相談ください。

平成29年 訓練の実施状況

【実施地区】
山室区、伊井区、轟木区、新田区、河間区、柿原区、山十楽区、清王区、山西方寺区、嫁威区、細呂木区、波松区、桜ヶ丘区、旭区、光明区、春日区、向ヶ丘区、新区、北稲越区、中番区、清間区、下金屋区、菅野区、指中区、南稲越区、新富区、水口区、天王区、上八日区、宮谷区、舟津温泉区、二面温泉区、稲荷山区、桑原区、田中温泉区、東温泉区、下番区、堀江十楽区、舟津区、河水苑区、桜区(順不同)

【主な訓練内容】
安否確認訓練、AED講習、防災講習(避難の心得など)、消火栓取扱訓練、防火講習、救急講習、消火器取扱訓練、ホース延長取扱訓練、可搬ポンプ取扱訓練、防災資機材取扱訓練、応急救護訓練、土のう作成訓練

※詳細は、市のホームページをご覧ください。

昨年、衆議院解散に伴う衆議院選挙日が市総合防災訓練の予定日と重なったため、防災訓練を急きょ中止しました。そのため、各区の自主防災訓練実施にご迷惑をおかけしました。

■ 消防署からの協力 (技術的支援)
・ 消火訓練(消火器、消火栓などの取り扱い指導)

■ 市からの協力(物的支援)
・ 保存食(アルファ米)、保存飲料水の提供
・ 訓練に必要な消耗品(ブルーシート、ロープなど)の支給など

・ 救命講習(AEDの取り扱い、応急手当、心肺蘇生法の指導)など

問合せ 総務課
安全対策室
☎73-8040